

■ 家を守り歌に生きた生涯しょうがい

後藤 逸

ごとう いつ

出身地 湯沢市（旧稲川町）

1814年（文化11年）～1883年（明治16年）

農家に生まれ、幼少ようしょうから才能を認められて歌や書を習い、江戸藩邸はんでいに召されるまでになる。肉親かんの看病びようのために帰郷ききょう。維新後は貧苦いしんの中、家を守りながら歌を続け、婦道かがみの鑑たと称えられた。石川理紀いしかわりきのすけ之助らとの交流が知られる。



年譜

- 1814年 湯沢市いなかわ（旧稲川町）に生まれる。本名・イツ。
- 1830年 肝煎きもいりらの勧めで久保田すすくや能代くぼたに通い、書や歌を学ぶ。のしろ
- 1834年 江戸藩邸はんでいに上がる。
- 1848年 父の看病かんびようのため帰郷ききょう。
久保田城くぼたじょうに出入りして藩士はんしたちに和歌を教える。
- 1856年 秋田藩主はんしゅより孝養を賞して青銅かんもん3貫文たまわを賜る。
- 1871年 岩崎藩主いわさきより家族一同おのおのが各々5合ごうふち扶持を受ける。
- 1881年 天皇巡幸じゆんこうの際、宮内卿くの和歌の講話ないきょうに招かれる。
- 1883年 湯沢市いなかわ（旧稲川町）で没。70歳。ぼつさい